# 植物防疫情報第２号

令和６年５月 17 日
岡山県病害虫防除所
岡山県植物防疫協会

## ジャンボタニシに注意してください！

５月 13 日の病害虫防除所が実施した用水路のジャンボタニシの卵塊数調査（図１）によると、県南部の一部地点における卵塊数が 1.29 個/㎡（平年 0.04 個/㎡）と平年よりも多くなっており、水田内や用水路での個体数が平年に比べて多いことが推察されます。今後、本格的な田植え時期を迎えますので冬期の対策を行っている場合でも十分な対策を取ってください。

＜防除対策＞

1　水田の取水口と排水口に金網（目合い２㎝程度）等を設置し、用水路からの侵入を防ぐ。
2　水田内、用水路等のジャンボタニシの捕殺に努め、卵塊は早めに払い落とす。
3　田植え後 20 日程度までは、深水にならないような水管理に努める（2016 年（平成 28 年）には、６月中下旬の多雨で深水となったほ場で、甚大な被害を受けた事例がみられた）。
4　被害が予想される場合、田植え後のすみやかな薬剤防除も検討する。

＜参考事項＞

1　本年は暖冬傾向で推移（図２）したためジャンボタニシ（和名:スクミリンゴガイ）の越冬個体数が多いことが予想される。
2　岡山県植物防疫協会のパンフレット「ジャンボタニシ(スクミリンゴガイ)がいませんか？」参照（別添）。



**図１　用水路壁に産みつけられたジャンボタニシの卵塊（７月の状況）**

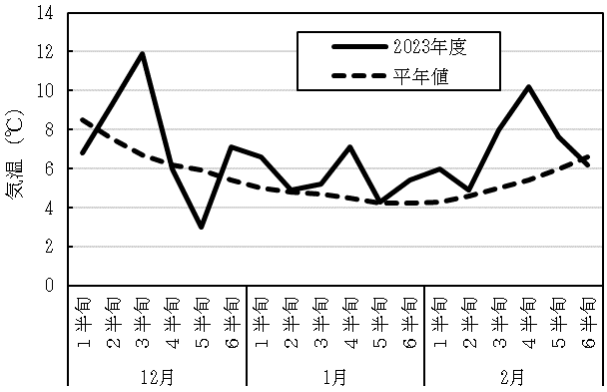



**図２　厳冬期における平均気温の比較（アメダス岡山地点）（平年値は1993～2022年の30年間の平均値）**

この情報は、岡山県病害虫防除所ホームページでも公開しています。
アドレスは、http://www.pref.okayama.jp/soshiki/239/　です。